

平成26年度 東京都地域自殺対策緊急強化補助事業について

① 区市町村における若年層対策取組事例

<実施主体>

新宿区

<事業内容>**○10代向け自殺対策普及啓発パンフレットの配布**

思春期は、こころの不調による不登校やひきこもりから、症状の進行によっては自殺につながることもあるため、こころの病気の早期発見につながるよう10代向けに普及啓発パンフレットを作成し、区内中学校に配布する。

○若者支援対策専門部会の開催

学識経験者及び若者支援対策に取り組む関係機関から委員を構成し、若年層の自殺対策の検討や、各機関の課題の共有を行うための会議を運営する。(自殺総合対策会議の部会として設置)

<実施主体>

足立区

<事業内容>**○小中学生及び高校生特別授業の実施**

自己肯定感が持てるようメッセージするとともに、将来起きるかもしれない危機的状況に対応できるよう援助希求の大切さを伝えるために、区内の小中学校及び高校に出向き、心が苦しい時の対処法、デートDV、心が折れそうな君へメッセージなどの特別授業を実施する。

<実施主体>

世田谷区・多摩市・西東京市

<事業内容>**○中学生向け自殺予防小冊子の作成・配布**

広域集団での生活が始まるなど、環境の変化が著しく、家庭状況や学力からも不安定になりやすい中学1年生に対して、教育委員会や学校と連携しながら自殺予防小冊子を作成し授業で活用することで、自殺予防教育の普及を図る。

②民間団体における若年層対策取組事例

<実施主体>

特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク

<事業内容>

中高生向けリーフレットの作成

中高生が現在抱えている悩みや問題についての相談先の情報及び多重債務、過酷な労働条件、希死念慮を抱えた時など、将来の危機回避に役立つ情報を掲載したリーフレットを作成し、関係機関に送付することで中高生のリスク回避に繋げ自殺の未然防止を図る。

<実施主体>

いのち リスペクト。 ホワイトリボン キャンペーン

<事業内容>

○若者ピアサポーター養成事業

近年増加傾向と言われる LGBT サークルのメンバーと連携し、LGBT サークルの学生等を対象に、外部講師（臨床心理士）によるピアサポートの基本に関する講義や LGBT の若者が利用できる社会資源、若者が抱える悩みの共有等に関するワークショップを実施することで、若者が直面しやすい様々な課題について共に考えるピアサポート力を強化し、外部機関の支援に繋げる。

○性的マイノリティの児童・生徒への対応に関する実態調査

都内の公立中学校・高等学校・特別支援学校を対象に、性的マイノリティの児童・生徒に対応した際の経験についてアンケート調査を実施し、性的マイノリティの児童・生徒と接する教員が何を必要とし、外部団体と連携するにあたってどのような課題を抱えているかを明らかにし、客観的なデータとして示すことで、今後の取組に活用する。

<実施主体>

特定非営利活動法人OVA

<事業内容>

オンライン・ゲートキーパー事業

インターネットの検索サイトで自殺関連用語検索した場合に、リスティング広告を利用して広告を表示させることにより特設サイトへ誘導し、特設サイトに相談を促し主にメールにて相談活動を展開する。様々な相談窓口に自ら訪れることが出来ない援助希求が低くなっている自殺の危険が高い方をインターネットを通じて、特定・介入し、適切な援助資源へ繋げる。